

卷頭言

新学習指導要領の先行実施へ向けて

県教育庁教育振興部指導課 指導主事 永田 潤一郎

この春から、小学校において新学習指導要領が全面実施されました。中学校においても、平成24年度から全面実施されます。高等学校については、総則、総合的な学習の時間、特別活動等について、すでに昨年度から先行実施されていますが、各教科については、平成25年度から年次進行で全面実施される予定です。

高等学校では、新学習指導要領の実施まで、まだ準備の時間がありそうですが、数学については、理科と共に、来年度から一部の科目で先行実施されます。これは、来年度、高等学校に入学する生徒が、中学校において実施されてきた移行措置を3年間受けて進学してくることを受けたものです。つまり、平成24年度の新入生は、数学と理科について、中学校の新学習指導要領の内容を一通り学習しているわけです。

来年度から新学習指導要領に基づいて指導する科目は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」の3つです。まず、これらの科目の内容について、何がどのように変わるのかを確認しておく必要があります。文部科学省のサイトでは、高等学校学習指導要領の新旧対照表が公開されており参考になります。「数学Ⅰ」では、新たに統計に関する内容が必修化されています。ここでは、コンピュータなどを適宜用いながら、データを整理し、数学的に考察し説明できるようにすることが求められています。先生方の中には、自分自身、高校生の頃に統計に関する内容を学んだことがないという方もいるのではないのでしょうか。十分な教材研究が不可欠です。また、「数学Ⅰ」と「数学A」では、知識・技能を活用する学習や探究する学習を重視して、「課題学習」が導入されています。「課題学習」については、指導内容との関連を踏まえ、学習効果を高めるよう適切な時期や場面に実施するとともに、実施に当たっては数学的活動を一層重視することが求められています。「課題学習」の実現に向けて、新たな教材を開発することも大切ですが、従来から指導してきた内容を「課題学習」として指導するという視点から見直すことも大切にする必要があります。

こうした現状を受け、県教育委員会では、各学校における教育課程の編成と円滑な実施に向けて、今後とも新学習指導要領の趣旨や内容の周知・徹底を図っていきます。そのために、昨年3月に通知した「千葉県県立高等学校の教育課程の編成方針」を重視しています。この通知は、新学習指導要領の趣旨に基づいて、本県高等学校教育のさらなる充実発展を目指すもので、今後10年の教育の方向性を示す大変重要な方針となっています。この時期に是非もう一度、ご一読ください。

最後になりましたが、数学会の事務局及び会員の皆様の、数学教育の改善・充実に向けた熱意ある取組に感謝するとともに、数学会誌「 $\alpha-\omega$ 」が一層充実・発展し、今後とも多くの先生方の研修の一助となり、日々の実践に活用されることを祈念いたしております。